

よく読んで手順通りに作業しましょう！ 『③の暗証番号の設定を完了するまで』ハンドルは空回りします

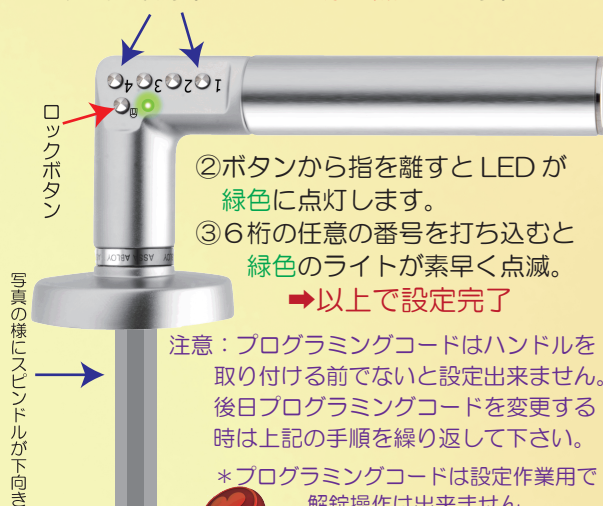
## Code-It 取付説明書

- ➔プログラミングコードを設定する。
- ➔コードイットをドアに取り付ける。
- ➔暗証番号を設定する。
- ➔施錠モードを設定する。(出荷時は手動モード)
- ➔ボタン操作音を設定する。(操作音のオン・オフ)



### 1 <プログラミングコードの設定>

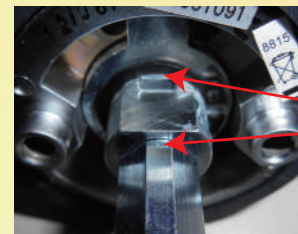
①スピンドルを下向きにして1と4のボタンを同時に押す。➔LEDが赤く点滅します。



- ②ボタンから指を離すとLEDが緑色に点灯します。
- ③6桁の任意の番号を打ち込むと緑色のライトが素早く点滅。➔以上で設定完了

注意：プログラミングコードはハンドルを取り付ける前でないとい設定出来ません。後日プログラミングコードを変更する時は上記の手順を繰り返して下さい。  
\*プログラミングコードは設定作業用で解錠操作は出来ません。

### 2 <ドアにコードイットを取り付ける>



トラックポイントを上向きにする

- ①先に内側ハンドルに付属のネジを差し込む。ドアの厚さに合わせてネジ・スペーサーを選ぶ。  
\*裏面の「取付時の注意」参照ください。
- ②表側ハンドルのトラックポイントを合わせスピンドルを錠ケースに差し込む。
- ③内側ハンドルを入れネジで表側ハンドルを固定する。➔以上で取付完了

注意：ドアの厚さに合わせて付属のネジを選びハンドルを水平に固定し、ハンドルが自在に動くか確認する。

### 3 <暗証番号の登録>

①ロックボタンを長押ししてプログラミングモードを起動。  
赤ライト：点滅➔消灯➔点灯



- ②ロックボタンから指を離し5秒以内にプログラミングコードを打ち込む。➔LEDが緑色に点灯。
- ③1のボタンを押す。➔消灯➔LEDが緑色に点灯。
- ④5秒以内に任意の4～6桁の暗証番号を打ち込む。
- ⑤6桁入力後に緑点滅 & ピピッと音がして登録完了。  
\*4桁・5桁の場合は3秒後に緑点滅とピピッ音で完了。  
➔緑のLEDが点灯状態➔数秒後に消灯します。  
(ロックボタンを押すとすぐ消えます)

メモ：暗証番号は最大9種登録可能です。  
③の操作で1のボタンを2回押せば番地2に登録出来ます。4桁・5桁・6桁で暗証番号は登録出来ます。

プログラミングコードは設定作業用で解錠操作は出来ません。

### 4 <自動施錠・手動施錠の設定>

\*出荷時初期設定は手動施錠です。

①ロックボタンを長押ししてプログラミングモードを起動。  
赤ライト：点滅➔消灯➔点灯



- ②ロックボタンから指を離し5秒以内にプログラミングコードを打ち込む。➔LEDが緑色に点灯。
- ③3のボタンを押す。➔ピピッと音と共にLEDが緑色に点灯し消灯。➔設定完了。

\*3を押すたびに自動と手動が切り替わります。  
長めのブザー➔手動モード 短めのブザー➔自動モード (ピー)

◆一時モード：自動モードで運用している時に一時的に手動モードにする事が出来ます。➔暗証番号を押した後に3秒以内に1と4のボタンを同時に押す、或いは10秒間ハンドルを下げると一時的な手動モードになります。ロックボタンを押すと施錠され自動モードに復帰。

### 5 <ボタン操作音の切り替え>

\*出荷時初期設定は鳴動です。

①ロックボタンを長押ししてプログラミングモードを起動。  
赤ライト：点滅➔消灯➔点灯



- ②ロックボタンから指を離し5秒以内にプログラミングコードを打ち込む。➔LEDが緑色に点灯。
- ③2のボタンを押す。➔ピピッと音と共にLEDが緑色に点灯し消灯。➔設定完了。

\*2を押すたびに消音と鳴動が切り替わります。

- ・長めのブザー (ピー) ➔ 消音
- ・短いブザー (ピピピ) ➔ 鳴動

間違った暗証番号から5回入力されると3分間使用停止モードになります。(その間、ロックボタンは5秒間隔で赤く点滅します)